香川県高等学校PTA連合会
香川県高P連だより 第2号

平成27年3月1日発行　発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局　高松市西内町7番11号　香川県高等学校PTA会館内
TEL.087-851-4614　FAX.087-851-4628　E-mail:ka-koup@mxi.netwave.or.jp

第21回 大学・専門学校訪問研修会 京都方面 報告

爽やかな秋晴れに恵まれた10月17日（金）・18日（土）、県下高等学校から保護者・教職員等58名の参加を得て、今回は京都の大学（校）を訪問しました。

立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）

京都の名刹に囲まれた衣笠キャンパスとは異なる趣を持ち、草津市の数々の芸術文化施設や企業の研究施設が集まる文教地区に位置したこのキャンパスは、40近くある様々な施設と最新鋭の設備、複数のグランドやスタジアムを備え、まるで大学が一つの都市であるかのようでした。

学生スタッフの案内で施設見学をしながら、大学を選んだ理由、留学制度、授業選択、就職活動などの話を聞き、学食ではメニュー豊富な昼食をいただきました。

その後の香川県出身の入試広報課の方のお話は参加者にとって大きな収穫だったようです。

学生数3万人を超えるマンモス大学でありながら社会（企業）にとって必要とされる人材育成にきめ細やかに対応している説明を受けました。『大学の基本は自分で迷い、決めていくこと。これは社会での基本である。』『大事なことは学校生活から離れないということ。これは大学も社会も組織で成り立っている。組織の中で自分を確立していけなければ、将来の自己実現も難しい。』高校までと大学入学後の違いや、入学前に既に卒業後を見据えた選択がいかに重要であるかがよく分かり、学生に対する熱意に溢れた話に引き込まれ、子どもたちにすぐに伝えられる意味深い内容でした。

集合写真（立命館大学）

同志社大学（今出川キャンパス）

同志社大学のシンボル的な建築物であるクラーク記念館や礼拝堂など、国の重要文化財に指定されている建物が5棟もあるキャンパスは、歴史と伝統を感じるリベラルな空気を漂わせていました。

担当者から、今後はグローバルに活躍する国際人の育成を目指すという理念や、そのことに対応するための充実した留学プログラムの整備についての話を聞くこともできました。予定していた学生スタッフの都合が悪くなり、残念ながらキャンパスツアーが中止になってしまい申し訳ありませんでした。学生との交流があまりできませんでしたが、自由散策の中で、各々話しかけられた様子でした。

佛教大学

佛教大学は、教育と医療の分野に特化した100年余の歴史を持つ大学です。コンパクトなキャンパスに京都らしいはんなりした空気感が漂い、全体的に落ち着いた印象を受けました。

1年生の段階で進路を決め、目標を定めてそのための資格取得に向けた対策講座や個別指導の充実、また併設する通信教育課程を利用すれば取得できる資格の幅を広げることができるなど、きめ細かいサポートが特徴でした。目的意識の強い学生が多い印象を受け、総合大学にはない独自のアイデンティティを持って教育に取り組む大学のように感じられました。

京都調理師専門学校

料理の本場・京都で学び、「専門力」を身につける学校。1クラス約30人の小人数制指導を実施し、一人の講師が指導から成績評価まで責任をもって担当しています。こうした適切かつ手厚い個人指導により実践力が養われるのだと感じました。

最新プロ仕様の設備機器の充実性には目を見張るものがあり、そこで実習することにより卒業後はどんな現場にも戸惑うことなく即戦力として活躍できるそうです。

また、フードサービス業界や各業界で活躍中のおもてなしの達人を招き、特別授業を行うなど、ホスピタリティ精神を学べるという人材育成にも万全なカリキュラムでした。

講師自身も数々の賞を受賞するなど、生徒のみならず自らも挑戦し続ける姿勢に感銘を受けました。

目次

第21回 大学・専門学校訪問研修会報告 ……1
PTA活動紹介
　高松東高校、観音寺中央高校 ……2
高P連会長のコラム ……3
PTA NEWS（携帯電話・スマートフォン等の利用に関する調査より）…3
平成27年度 主要行事予定案 ……4
第58回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会 …4
全国規模の大会で優秀な成果を収めた生徒の表彰 ……4
高校生総合保障制度 ……4

PTA活動紹介

高松東高校

本校は、明治41年に開校し、平成30年に創立110周年を迎える県内有数の伝統校です。新川の穏やかな流れに寄り添うように本校は建ち並んでいますが、平成28年度3月の新校舎完成に向けて、現在工事が進められているところです。

本校は人間力向上を柱に置いて、特に「阿蘇富士（あそふじ）教育（挨拶・掃除・服装・時間）」に力を入れ、地域と共に歩んできました。近年は、地元の方たちと交流する行事も増えています。その活動例を紹介させていただきます。

毎年3月上旬に、本校周辺と新川の清掃活動を行っています。生徒会や部活動に所属する200名以上の生徒たちが、地元の方たちとゴミを拾います。通学路をきれいにすることで、地域の方たちへの感謝を改めて感じているようです。

また、12月には生徒会主催の「クリスマスイベント」が開かれます。近隣の児童たちを招き、交流を深める企画となっています。生徒会の出しもの、新体操部、吹奏楽部、合唱部のパフォーマンスや図書委員の読み聞かせなどが行われ、小さいお客さまをもてなします。今回初めての企画として、ワークショップが設けられました。生徒たちは、児童たちと簡単なクリスマスグッズを作り、楽しい時間を過ごしていました。PTA活動としては、バルーンアートのワークショップを開き、動植物やクリスマス関連の作品作りの手ほどきをしました。また、温かい飲み物で来場者をもてなしました。

これまで本校独自のPTA活動はこれといってありませんでした。しかし、他校のPTA活動を聞くにつけ、子どもたちと触れ合い、先生方とも親睦を深める良い機会だと感じ、ようやく今年度PTAの文化祭バザー参加が実現できました。

クリスマスイベント

初めてのPTAバザー

PTA活動の中で子どもたちを間近で見ていると、私たち大人が知らない間に成長していることに気付かされます。さりげなくお年寄りの手を引き横断歩道を渡る姿。登下校中に率先して挨拶する姿。学童保育のボランティアでは、子どもの目線まで下がり触れ合っていました。

本校生に限ったことではありませんが、このように思いやりを持った優しい成長を感じられる貴重な機会を得られたと喜んでいます。

観音寺中央高校

観音寺中央高校は、各学年5クラス、計15クラスの総合学科の高校です。子ども達の進路希望や適性に応じて系列ごとに、特色ある教育活動が行われています。

本校では地域と結びついた活動が盛んです。例えば食物系列では、和・洋・中の調理実習の成果を地元の方々に披露する機会が折々にあります。文化祭ではバザー会場で子ども達が作った料理を食べることができます。その中でも長月弁当は食べるだけでなく、見る楽しみも与えてくれる一品です。また、先日行われた観音寺市のイベントでは手作りの焼菓子100セットがわずか30分で完売するなど大変な人気でした。

中央祭バザー会場

長月弁当

商業系列では地域活性化のために商工会の方と共に街を飾るイルミネーションの準備に参加したり、商店街で「真狩村フェア」と題し、北海道の真狩村から仕入れたジャガ芋などの商品を販売するという実習を行っています。この他にも、使わなくなった子ども服を必要としている世界の子ども達に届ける活動や、グリーンカーテンの作成など国際理解や環境保護に関する取り組みも行われています。このような活動を通して、地域のために自分ができることを考え、将来、地元で活躍できる人材を育ててくれていることは保護者としても心強く思います。

真狩村フェア

本校のPTA活動では、学校とのつながりを大切に委員会活動をしています。生活指導委員会では地域の祭りの補導に先生方と一緒に回ります。研修委員会では各研修に参加しています。文化活動委員会では文化祭にPTA展として作品を展示しています。厚生委員会では学校保健委員会に参加させていただいています。

子ども達がいきいきと活動できる学校づくりのために学校と保護者との協力は欠かせません。PTA活動を通して学校行事に参加できる機会を大切にしたいと思います。そして、子ども達の成長のために何が必要なのか共に考え、連携を取りながらこれからも活動していきたいと思います。

泉満（いずみみつる）高P連会長のコラム

阪神淡路大震災から20年

6千人を超す命を奪った阪神淡路大震災から今年で20年が経ちました。各地では追悼行事が行われ、「あの時」を振り返るニュースに釘付けになりました。

今や神戸市民の4割を超える人々が震災を知らない世代となり、街は整備され復興しています。しかし、命を守ることはできたけれど生業を変えざるを得なかった人々、今なお金銭的な負担を負い続けている人々が多くいます。借上復興住宅については行政の財政負担が大きく、住替えを余技なくされている人々もおり、その多くが高齢者で、健康面での心配や20年の間に築いてきた近隣との絆が途絶えてしまうことを大変不安に感じているそうです。

人々の記憶が風化してしまわないように、また震災を知らない世代に残していくために街の定点観測を続けている活動や、大人になった震災児たちが、東日本大震災の遺児たちを支援する姿もニュースで紹介されていました。

一方、震災の頃生まれた子どもたちが成人式を迎えました。被災地の成人式で「あの時のことは覚えていませんが、母が自分の上に被さって守ってくれたから今の自分がいるのです。」「今こうして生きていられる事に感謝して、これからは人の役に立つ仕事に就きたいです。」

とインタビューに答える新成人が印象的でした。

阪神大震災では、家屋に閉じ込められて助かった約16万4000人のうち、自力脱出が8割近い約12万9000人、家族や隣人、友人らに救出されたのが16.5%に当たる約2万7100人、消防、警察、自衛隊など公的機関による救出は5%未満の約7900人というデータがあります。時間との闘いという面もありますが、過去の大災害でもほぼ同じ傾向と言われています。昨年11月の長野県北部の地震でも、近隣住民の助け合いによって死者が出ませんでした。「自助」「共助」が防災の基本であることを心しなければなりません。

南海トラフ巨大地震は、東日本大震災を上回る被害が想定されています。常に備えを怠ってはなりません。さらに、地震国であり、阪神大震災、東日本大震災を体験した日本は、防災先進国としての役割が世界から期待されています。ボランティア元年と呼ばれた1995年の熱い思いを我々世代は若い世代に伝え継承していかなくてはなりません。防災教育をはじめ当時の報道をみたり語り部の話を聞いたりして災害の記憶を風化させない活動を続ける必要があります。

「都市が大破壊したのは、すべて震度7のせいなのか。それは日本の都市全体の問いかもしれない。ここには無限のデータ、教訓が埋蔵されている。」震災1ケ月後、地元の神戸新聞に書かれていました。

私たちは、無限のデータを生かし切っているのだろうか。対策は「あの時」より進んでいたのだろうか。

今からでも遅くありません。いつでも何度でも振り返り、命について考え、命を守ることの今後に繋げていきたいと感じています。

PTA NEWS

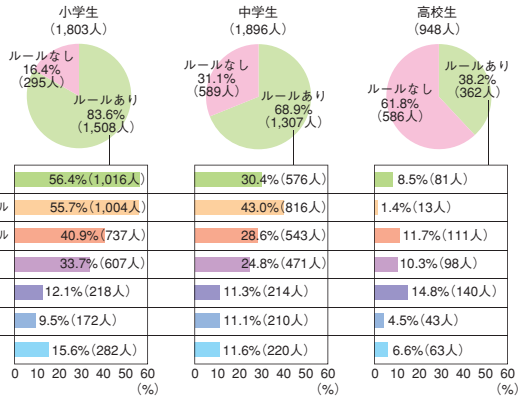
県教育委員会より
携帯電話・スマートフォン等の利用等に関する調査について（抜粋）

～高P連会長からのお願い～
- 家の人と決めた使用のルールを守りましょう。
- 自分も他の人も傷つけない使い方をしましょう。

平成26年7月実施

家庭で決めた使用に関するルール

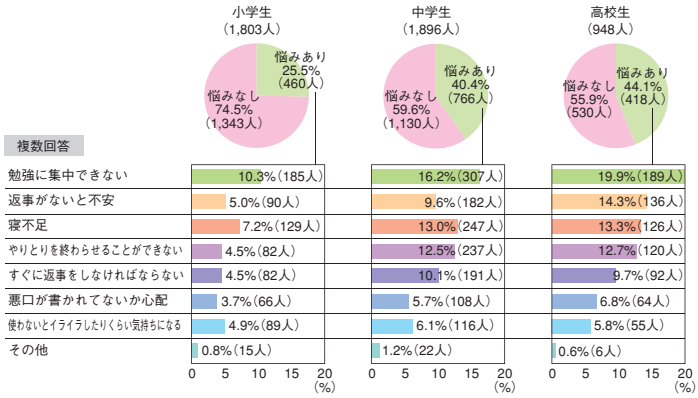
※自分の「スマホ・ゲーム機など」を「持っている」と回答した児童生徒に対する割合



- 何もルールがないまま、自分の「スマホ・ゲーム機など」を所持しているケースが小学生（4～6年）でもみられます。
- ルールを決めていても「時間を決めて使う」、「不適切な書込みをしない」、「知らない人に連絡しない」など、ぜひ決めて欲しいルールの設定状況はまだ十分ではないといえます。

使用に当たっての悩みや心配事

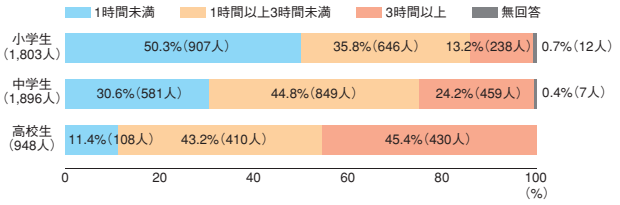
※自分の「スマホ・ゲーム機など」を「持っている」と回答した児童生徒に対する割合



- 最も多い回答は「勉強に集中できない」といった学習に関する悩みです。
- 学年が上がるほど「返事がこないと不安」、「やりとりを終わらせることができない」といったコミュニケーション上の悩みも増加しています。利用時間と密接な関係があると考えられます。

1日の使用時間

※自分の「スマホ・ゲーム機など」を「持っている」と回答した児童生徒に対する割合



- 学年が上がるにつれて利用時間が増える傾向にあります。
- 家庭で決めた使用に関するルールの設定率が最も低い高校生は、半数近くが1日に3時間以上、「スマホ・ゲーム機など」を使用しています。

ネット安全利用教室窓口（平成26年11月1日）

機関・団体名「事業名」	実施対象	実施可能日等	電話番号
香川県教育委員会生涯学習・文化財課「『さぬきっ子安全安心ネット指導員』による啓発活動」	小・中・高等学校PTA等の保護者（おおむね10名以上）	土、日、祝日や夜間可能	☎087-832-3773
情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)「情報モラルセキュリティー学習」	小学5年生以上、中学生、高校生、大人（保護者、教員等）最低20名以上	月曜日を除く	☎087-822-0111
e-ネットキャラバン「e-ネット安心講座」	小学5年生以上、中学生、高校生、大人（保護者、教員等）最低15名以上	土、日、祝日や夜間は早期相談	☎03-5403-1090
香川県県民活動・男女共同参画課「ケータイ出前講座」	大人（保護者、教員等）10名以上の営利を目的としない集会や会合	土、日、祝日や夜間可能	☎087-832-3196

第57回中国・四国地区 高等学校PTA連合会大会

岡山大会

●期　日　平成27年7月10日（金）
●会　場　岡山市民会館（岡山市）
※事務局では交通・宿泊の手配はいたしません。

第65回全国 高等学校PTA連合会大会

岩手大会

●期　日　平成27年8月19日（水）～21日（金）
●会　場　岩手産業文化センター
他6会場（盛岡市、滝沢市）
※事務局では「香川県高Ｐ連プラン」（交通・宿泊等）を企画、ご案内いたします。

第22回 大学・専門学校訪問研修会

大阪方面

●期　日　平成27年10月16日（金）・17日（土）
●訪問先　未定（大阪府下の大学・専門学校）
※訪問先は8月中旬までに決定。決定次第ご案内いたします。

平成27年度　主要行事予定案

5月28日（木）	●第１回定例理事会（高Ｐ連・振興会）
	●第58回中国・四国地区高Ｐ連大会香川大会 第３回準備委員会
6月10日（水）	●PTA活動推進功労者表彰式・高Ｐ連総会　並びに教育振興会定時評議員会
7月10日（金）	●第57回中国・四国地区高Ｐ連大会岡山大会
7月28日（火）	●PTA会長等研修講演会（講師：ネッツトヨタ南国　取締役相談役 横田英毅氏）
	●第２回定例理事会（高Ｐ連・振興会）
	●第58回中国・四国地区高Ｐ連大会香川大会 第１回実行委員会
8月19日（水）～21日（金）	●第65回全国高Ｐ連大会岩手大会
10月16日（金）・17日（土）	●第22回大学・専門学校訪問研修会
2月19日（金）	●第３回定例理事会（高Ｐ連・振興会）
	●第58回中国・四国地区高Ｐ連大会香川大会 第２回実行委員会

＊香川大会実行委員会は必要に応じて開催する予定です。

平成28年7月　第58回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 香川大会 開催

●期　日　平成28年7月15日（金）
●会　場　アルファあなぶきホール 大ホール
●参加者　中国・四国地区高等学校PTA会員　約1,800名

平成28年度に中国・四国地区高Ｐ連大会香川大会が開催されます。26年７月に準備委員会を立ち上げ、基本的な案を提示して承認を得た内容を踏襲するとともに、27年の岡山大会には委員による視察も行い、実行委員会へ移行して本格的な準備態勢に入る予定です。

会員の皆様のご協力ご支援よろしくお願いします。

「大会テーマ」を募集中!!

（各校より1点）

大会の趣旨に基づき、中国・四国地区高Ｐ連の会員の方々に「香川らしさ」をアピールするにふさわしい「大会テーマ」を現在募集中です。ご応募が未だの学校は、期限までによろしくお願いします。

募集期間	平成26年12月1日～平成27年3月20日

※詳細は「大会テーマ」募集要領をご覧ください。
（12月1日各校宛てメール配信）

香川県高等学校PTA連合会推薦

高校生総合保障制度

―ご加入手続きのご案内―

パンフレット配布スケジュール

在校生は、終業式または始業式など、新入学生は、合格者召集日などで配布されます。

募集締切　平成27年4月17日（金）

補償開始　平成27年4月20日（月）より1年間
※卒業まで自動継続

制度引受保険会社
AIU保険 Member of AIG
AIU損害保険株式会社
高松支店
香川県高松市紺屋町9-6
高松大同生命ビル5F
TEL.087-821-8031

この封筒が目印です！

全国規模の大会で 優秀な成果を収めた生徒の表彰

一般財団法人香川県高等学校教育振興会公益目的事業（助成事業）
（平成26年4月1日～平成27年1月31日現在）

おめでとうございます！

〈平成26年度全国地域安全運動向けポスターの部〉

全国最優秀賞　高松工芸高校デザイン科２年 成行花奈さん

〈平成26年度全国地域安全運動向け標語の部〉

全国最優秀賞　高松工芸高校デザイン科２年 中條朱理さん